

「わたしの大学生活、基点は図書館」

図書館職員 掛 橋 寛 和

図書館報「藤棚」の担当者となり、執筆のご協力を頂くべく諸先生方へのご依頼や内容構想を練る日々が続いた2008年の初夏頃であったか、館内で「あの、僕も書いていいですか」と言ったことがきっかけで執筆陣の仲間入りとなった。いざ、仲間入りを果たしたところまではいいものの…限られた時間、紙面等のなかで何が書けるかと思案していると「とんでもない大役を引き受けてしまったかも」との不安がこみ上げてきた。そんな不安とともにではあるが、自分の大学生活と図書館、図書館員からみた学生さんの学生生活と図書館という視点から筆を進めていこうと思う。

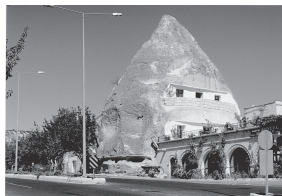
小生の学生時代はといえ、休暇期間にアジア圏～中東など各国を旅行したり趣味と実学をかねて英語や韓国語に取組んだりという感じであった。一人での旅行が大半であったためか、事前に旅先の状況等の情報収集や予算・旅程の検討に時間を割いたが、そのための場所は主として図書館であった。図書館には、新聞・様々な雑誌は言うに及ばず、PCもあったので情報収集・分析にはうってつけだったし、留学生を相手に旅先で使用する英語・韓国語を実践する場でもあった（周囲に迷惑をかけないよう気をつけました^^）。その他、ある時は外国映画を見ながらの学習、レポート・論文作成、珈琲を友人と飲みながらの談笑（休憩）、部活動のための場として、様々な用途で利用したものである。そんな自分が図書館で働くようになってからは、図書館の使い方をアピールしたり、レポート・論文作成のための資料探しの説明をしていく、つまり学生時代とは全く逆の側になった。

図書館閲覧係員として働くようになってからは、各種ガイダンスの実施を通じ、色々なジャンルの雑誌、レポート・論文作成用等のPC、国内（外）旅行ガイドブック、過去の新聞記事のPC検索・印刷、生きた英語学習用のDVD(LD)、他大学図書館の本・論文等の現物 / コピーの取寄せ方などの便利な機能の紹介・説明業務に携わってきた。これらのものは図書館で利用できる便利な機能のほんの一例であるが、実は、意外に知られていない。例えば、先述の雑誌であるが、スポーツ・音楽・タウン情報・PC関連・旅行・健康関係等と普段気軽に読んでいるものもあり、なにも「専門チックで難シウ」なものばかりではない。「専門チックで難シウ」などころか、自分の趣味・大学生活をより楽しくするためのものでもある。そしてもう一例、図書館の1・2階で貸出ししているノートPCは、受講科目のWeb登録でもその効果を発揮できるし、無線LAN機能を備えていることからネット接続して国内外の情報入手、外部データベースにアクセスして過去の新聞記事検索、論文・レポート作成に必要な文献検索、有価証券報告書（決算資料）の検索・閲覧も可能である。要するに、「専門チックで難シウ」、「ガリ勉君（さん）の集ってそうなところ」というイメージよりも、「と一っても、と一っても便利で、モダンで、使えるところ」のイメージのほうがピータリなところである。

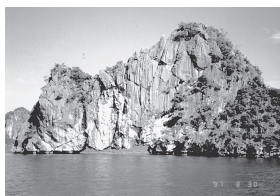
大学生活において何に重点をおいて過ごすかークラブ・サークル活動・留学・国内外旅行・アルバイト・ボランティア活動・資格検定試験取得・ゼミ活動・企業へのインターン…考えれば考えるだけ浮かんできると、この間は学生さん（ご父兄や指導教員も含む?）の共通の課題でもあり、明確な答えは直ぐに出せるものではない。しかし、広い大学のなかの、特に図書館のもつ諸機能が大学生生活の種々の場面に於いて、何らかの形で役立てることはたしかであると思う。そして、その諸機能の恩恵が遍く浸透し、誰もが常に等しく享受できるーそれが常態となっているとき…、もっと、もっとと活き活きさを輝き放っていることであろう。

「わたしの大学生活、基点は図書館」という想いを皆の学生さんに常に抱いてもらえること、それは、図書館閲覧係員を超えて大学で働く者として幸甚である。拙稿がまさにその第一歩たる「起点・基点・機転」とならんことを

■ 旅先にての写真



■ カップアドキア（トルコ）にて



■ ベトナムにて



■ ペトラ（ヨルダン）にて